

# 琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議

## かわら版 かわら版 かわら版 - 第2号 -

事務局：京都府企画環境部企画課事業推進室

TEL:075-414-4373 FAX:075-414-4389

Email:kikakuka@pref.kyoto.lg.jp

平成19年7月発行

三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県



琵琶湖・淀川流域は、古くから人と水の密接なかかわりの中で、歴史、文化を育み、都市と豊かな自然環境が共生し繁栄してきた地域です。

水の恩恵を受け豊かな心を育ててきたこの流域の持続的発展を目指し、住民、企業、NPO、研究機関、行政等のさまざまな主体が、水質や生態系など水の環境保全に関する活動を進めています。

流域6府県における水環境保全に関する取組を紹介します。

### 琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議 構成員 担当課

三重県政策部地域づくり支援室  
059-224-2420

大阪府政策企画部企画室  
06-6943-8054

滋賀県琵琶湖環境部水政課  
077-528-3352

兵庫県県民政策部政策局ビジョン課  
078-362-3057

京都府企画環境部企画課事業推進室  
075-414-4373

奈良県企画部資源調整課  
0742-27-8489

ホームページ：<http://www.pref.kyoto.jp/kyonomizu/10400031.html>  
流域府県の水に関わるイベントなどの情報

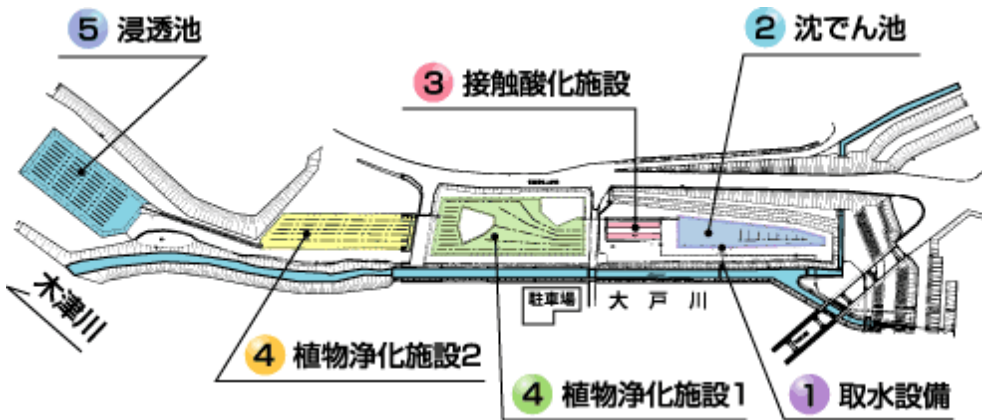
## 三重県

### 【大戸川生活排水浄化実験施設の紹介】～市民と行政のパートナーシップ～

伊賀市内を流れる大戸川には、市内の生活排水が流れ込んでおり、きれいだった川の水も、人口が増加するにつれてよごれが目立つようになってしまいました。

そのため、住民からの提案で、市民と行政(国・県・市)が手を組み、実験施設を建設し、維持管理するとともに、「川を美しくし、生活排水をきれいにしよう」というよびかけ活動を行い、川全体がきれいになるように取り組んでいます。

この大戸川の活動は、当初、全国でも例をみないモデル的な取り組みとして注目を浴び、多数の見学者が来訪し、活発な交流の場として展開されてきました。現在も小学校の協力を得るなどして、地域の環境学習の場所としての大きな役割を担っています。行政からの一方的な啓発ではなく、官民協働となるこの活動を通じて発信することは、広く住民の生活排水に対する理解と関心を促すものと考えています。



乳酸菌飲料容器を施設に設置する小学生

## 滋賀県

### 『魚のゆりかご水田プロジェクト』の取り組み

昭和40年代、琵琶湖周辺の水田は、ニゴロブナなどの湖魚にとって「ゆりかご」としての役割を持っていました。大雨が降ると琵琶湖から水路を通り水田に上って産卵し、やがて生まれた稚魚はしばらく水田で育って琵琶湖へ巣立っていきます。

かつて当たり前に見られたこのような光景も、近年は農地整備により排水路と水田に段差ができたため失われていました。それを見直そうと始まったのが『魚のゆりかご水田プロジェクト』です。

この取り組みでは、農家が主体となり、排水路に間伐材を用いた堰を設け、排水路の水位を水田の高さまで段階的に堰上げることで、魚が水田に遡上できるようにしています。

平成18年度は約40haの水田で取り組まれ、推定83万尾の稚魚の流下が確認され、水田を昔ながらの「魚のゆりかご」として再生することができました。また、各地域で開かれた住民や小学生による生きもの観察会では、稚魚の流下する様子を見て「水田と琵琶湖とのつながりを再認識できた」という声が聞かれるなど、水田の多面的機能を学習する貴重な場を提供することもできました。

今後は、こうした水田でとれたお米を『魚のゆりかご水田米』としてブランド化を図ることで取り組まれる農家をバックアップし、「魚のゆりかご水田」をさらに普及推進していきます。



魚道を遡上するナマズ



地域住民による魚道づくり



## 兵庫県

### 薪ストーブユーザーを対象にした里山オーナー制度

猪名川町森林組合が行っている里山のオーナー制度について紹介します。

薪を燃料に使う薪ストーブが静かなブームになっています。薪ストーブは、化石燃料を燃やす石油ストーブやガスストーブと違って、CO<sub>2</sub>を増やさない環境にやさしい暖房器具です。しかし、都会のユーザーにとっては薪の確保が悩みの種になっています。

そこで、猪名川町森林組合では薪づくりのための里山オーナー制度を始めました。薪づくりは、まず10人程度のグループで結成したオーナー会が、森林組合から斡旋を受けた里山の木を買い取ります。その後、自分たちで薪を作り、各自に分配します。費用は3年間3万円で、千束程度の薪を3年間で採取できます。

里山は、集落の近くにあり、かつては燃料や肥料を得るために利用されてきたため、常に人の手が行き届いていました。そのため、良好に管理され、森林の持つ水源涵養機能などが保たれてきましたが、今では里山の木々が燃料や肥料として利用されることがなくなり荒廃しつつあります。

山林の荒廃は水資源の確保に大きな影響を及ぼしますが、地域の住民だけでは十分に防ぐことは困難です。このような都市と農山村との交流によって木材を利用する取組が広がれば、里山の荒廃を防ぐことができるでしょう。

## 奈良県

海のない奈良県では、ダムによってできたダム湖は、「水」とふれあい、「水」に親しむことのできる貴重な存在です。今回はそのダムのひとつ、布目ダムと周辺で開催されているイベントなどの紹介をします。

布目ダムは、木津川の支流布目川の上流、奈良市と山添村にまたがった区域にあり、洪水調節の他、奈良市などに水道用水の供給も行っています。平成4年に完成した比較的新しいダムですので、公園などの施設も充実していて、緑に囲まれた自然の中での釣りやバーベキュー、また四季を通じて開催される様々なイベントなどで、たくさんの方々に利用されています。みなさんもぜひ一度、布目ダムを訪れてみてください。

#### 1. マリンスポーツ(カヌー、ボート) [山添村地域振興課: TEL 0743-85-0970]

山添村B & G海洋センターでは、カヌーやボートなどのマリンスポーツを楽しむことができます。インストラクターによる指導もありますので、初めての方でも安心です。

#### 2. 釣り [山添村地域振興課: TEL 0743-85-0970]

ダム湖は、ヘラブナなどの好釣り場となっています。毎年9月の第1日曜(今年は9月2日)には、布目湖釣り大会も開催されます。

#### 3. 布目ダムマラソン大会 [山添村地域振興課: TEL 0743-85-0970]

ダム湖の周回道路をコースに、毎年12月の第2日曜日(今年は12月9日)に開催されます。昨年は、約800人の方々の参加がありました。

#### 4. ツアーオブジャパン 奈良ステージ

国内外から多くの選手が集まる自転車レースです。1周10kmの布目ダムの周回路を舞台にしたレースは迫力満点です。



名物「大噴水」



迫力のゴール前



カヌーを楽しむ子供たち